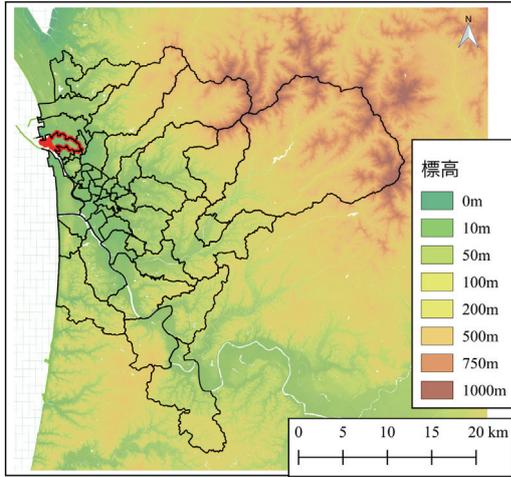
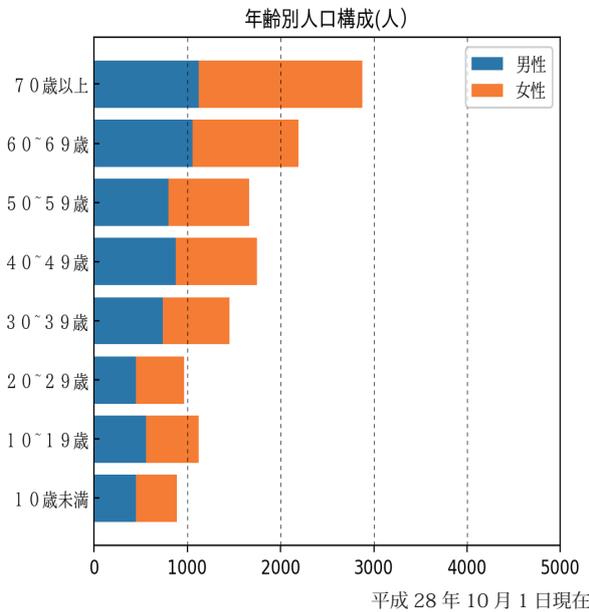


位置図



1 居住者の現況

人口	12,890 人
世帯数	5,592 世帯
65 歳以上人口	4,067 人
10 歳未満人口	884 人



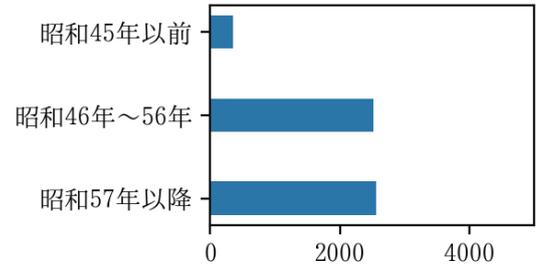
2 建物に関する指標

■ 構造別建物棟数(棟)

	棟
木造建物	5448
非木造建物	640

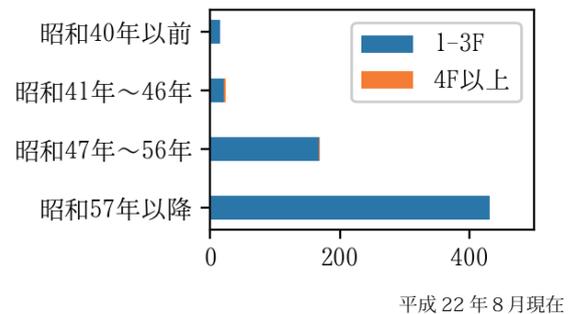
■ 建築年代別木造建物棟数(棟)

	棟
昭和57年以降	2,570
昭和46年~56年	2,523
昭和45年以前	355



■ 建築年代別非木造建物棟数(棟)

	1-3F	4F以上
昭和57年以降	432	0
昭和47年~56年	168	2
昭和41年~46年	21	2
昭和40年以前	15	0



自然的・社会的基盤指標

秋田市北部に位置し、一部は秋田港に面している。西部海岸地域は工業用地であり、それ以外の地域は商業地や住宅地となっている。地形は平坦で、地盤は沖積層が分布している。1983年日本海中部地震では沿岸部で液状化が発生した。秋田港では3m程度の津波が観測されたが、津波による浸水被害は発生しなかった。人口構成に年代による偏りが少ないのが特徴となっている。65歳以上の高齢者層は全体の約32%である。非木造建物は全建物の1割を占める。昭和57年以降の建物は全体の約半数である。

3 自然災害に関する指標 (平成 29 年 3 月現在)

■ 洪水

指定河川	(該当なし)		
浸水面積 (%)			
最大浸水深 (m)			

■ 土砂災害

* 土砂災害危険箇所

種別	箇所数	主な指定箇所
急傾斜地崩壊危険箇所	0	該当箇所なし
土石流危険渓流	0	該当箇所なし
地すべり危険箇所	0	該当箇所なし
なだれ危険箇所	0	該当箇所なし

* 土砂災害警戒区域

種別	箇所数	主な指定箇所
土砂災害警戒区域	0	該当箇所なし
うち土砂災害特別警戒区域をふくむもの		

■ 地震および津波

* 地震 (どこにでも起こりうる直下の地震: M6.9)

平均震度	震度 6 弱
(計測震度)	(5.91)
震度 6 強以上となる面積 (%)	6
液状化危険度ランク	5
建物全壊率 (%)	3

* 津波 (秋田県沖の地震で A,B,C 領域が連動した場合)

浸水面積 (%)	48.4
最大浸水深 (m)	11.9

4 災害時要配慮者に関する指標 (平成 29 年 3 月現在)

■ 要支援者関連施設 (収容施設のみ)

種別	施設数
高齢者支援	9
婦人幼児支援	1
障がい者等支援	6

■ 幼稚園・保育所等

種別	施設数
保育所等	1
こども園	1
幼稚園	0

■ 学童支援施設

種別	施設数
児童館等	2

■ 学校等

種別	施設数
小学校	1
中学校	1
高等学校	0
大学・短大・高専	0
養護学校等	0

5 防火・防災施設に関する指標 (平成 29 年 3 月現在)

■ 消防関連施設

消火栓数 (箇所)	151
防火水槽 (箇所)	15
消防車台数 (台)	12
消防ポンプ数 (台)	6
消防団員数 (人)	43

■ 避難所/避難場所 (別表参照)

災害種別	施設数
洪水	8
土砂災害	8
地震	8
津波	6
福祉避難所	0
津波避難ビル	6
津波警報サイレン	1

■ 救急・防災関連施設

種別	名称/箇所数
管轄消防署	土崎消防署
管轄警察署	秋田臨港警察署
病院・医院数 (歯科を除く)	5
最寄りの救急告示病院	秋田厚生医療センター
自主防災組織数	35

自然災害時の危険要素

港北小学校区内では、河川の氾濫による浸水は想定されていない。

学校区内は平坦地であることから土砂災害に関する危険性は指摘されていない。

地震動については概ね学校区内では同等の揺れやすさとなっているが、一部新城川の旧河道と見られる箇所では周辺よりやや揺れやすくなっている。液状化に関する危険度は高い。奥羽本線より西側では、津波浸水の可能性が想定されており、光沼近隣公園付近の住宅地では 2 階以上までの浸水となることが懸念されている。

防災上の課題と対策

1983 年日本海中部地震では、旧雄物川沿いの地域を中心に地盤の液状化が発生しており、秋田港で 3m 程度の津波が観測されている。将来、日本海で大地震が発生した場合には揺れと津波による被害が発生することも考えられる。学校区内には、旧耐震建物の占める割合も高く、地震時には甚大な被害が発生するものと想定される。

学校区内には、14 箇所の指定避難所および緊急時一時避難場所があるが、災害種別毎に施設の利用の可否があることから、事前に住民等へ避難関連施設を周知し、理解を得ることが重要な課題となる。

学校区の中央を南北に通る JR 奥羽本線を境に東地区と西地区ではそれぞれ独自に災害対応に至ることが考えられ、それぞれの地区で災害時対応などを検討しておくことが必要

であり、住民による参加型防災訓練等の実施により啓発・意識高揚に努めることも有効な対策となる。

■ 避難所・避難場所

施設	指定避難所	緊急避難場所					収容人員
		災害の種類（○のみ利用可）					
		洪水	がけ崩れ/ 土石流	地震	津波	大規模火災	
土崎中学校（体育館）	○	○	○	○	x	x	611 人
土崎中学校グラウンド	x	○	○	○	x	x	5,365 人
土崎中学校（校舎 2 階から 3 階までの教室と廊下）	x	x	x	x	○	x	1,140 人
港北小学校（体育館）	○	○	○	○	x	x	412 人
港北小学校グラウンド	x	○	○	○	x	x	7,913 人
港北小学校（校舎 3 階教室と廊下）	x	x	x	x	○	x	2,160 人
北部市民サービスセンター（体育館）	○	○	○	○	x	x	405 人
北部市民サービスセンター（立体駐車場 3 階、庁舎 3 階〔フロア、バルコニー〕および屋上）	x	x	x	x	○	x	4,830 人
港北地区コミュニティセンター	○	○	○	○	x	x	111 人
光沼近隣公園	x	○	○	○	x	x	14,450 人
土崎駅東第三街区公園	x	○	○	○	x	x	1,750 人
株式会社 ジーンズエム シーディ物流棟・工場棟（屋上）	x	x	x	x	○	x	1,000 人
秋田県職員港北新町公舎（2 階から 3 階までの階段と踊り場）	x	x	x	x	○	x	100 人
秋田県営土崎港住宅（3 階から 4 階までの階段と踊り場）	x	x	x	x	○	x	199 人

福祉避難所

施設	所在地	電話番号
(該当なし)		

津波避難ビル

施設	所在地	利用可能範囲	収容人員
北部市民サービスセンター	土崎港西五丁目 3 番 1 号	・立体駐車場 3 階 ・庁舎 3 階フロア / バルコニー・屋上	4,830 人
港北小学校	土崎港北四丁目 6 番 1 号	・校舎 3 階教室、廊下	2,160 人
土崎中学校	土崎港北一丁目 3 番 1 号	・校舎 2 階、3 階教室、廊下	1,140 人
株式会社 ジーンズエム シーディ物流棟・工場棟	土崎港相染町字浜ナシ山 17 番地 3	・屋上	1,000 人
秋田県職員港北新町公舎	港北新町 10 番 1 号	2 階から 3 階までの階段、踊り場	100 人
秋田県営土崎港住宅	土崎港相染町字中谷地 47 番地 2 ほか	・3 階から 4 階までの階段および踊り場	199 人

津波警報サイレン

施設	所在地
土崎港相染町	土崎港相染町字大浜 9 番地 1

